

「高校生ICT Conference 2018 in 石川」を開催

社会で活躍するためのICT活用法 ～18才成人化を控えて～

総務省は、平成30年9月15日（土）、金沢市内の金沢大学角間キャンパスにおいて、安心ネットづくり促進協議会（会長 新美 育文（にいみ いくふみ））、大阪私学教育情報化研究会（会長 井藤 眞由美（いとう まゆみ））及び一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会（代表理事 安田 浩（やすだ ひろし））とともに、高校生によるワークショップ「高校生ICT Conference 2018 in 石川」を開催し、石川県内の4校から生徒20人が参加しました。

本行事は、身近なスマートフォンやインターネットをテーマに、高校生自身が情報モラルについて深く考え意見を発表し、将来のよりよいインターネット利用環境構築の一助とするものです。

石川県立金沢向陽高等学校の林 道雄（はやし みちお）教諭の司会により開始され、第一部では、松原 卓（まつばら たかし）氏（インターネットコンテンツ審査監視機構）が「ネットでの賢い自己表現」と題して、細川 一人（ほそかわ かずひと）氏（KDDI株式会社北陸総支社管理部マネージャー）が「5Gの未来」と「守るべきルール・マナー」と題して講演しました。

第二部では、参加高校生を4グループに編成し、「社会で活躍するためのICT活用法～18才成人化を控えて～」をテーマに議論を行いました。その後のグループ発表では、「よりよくICTを使うための思いやり・判断力」、「災害時のICTの活用」、「学校でICTについて学ぶ機会の増加」、「個人情報漏洩対策の必要性」について討議結果が発表されました。



議論を行う高校生グループ



各グループからの発表



また、高校生ICTカンファレンス実行委員会による選考の結果、11月3日（土）に東京で開催される「高校生ICT Conference in サミット」※には、石川県立金沢北陵高等学校が石川県代表として参加することが決まりました。

※高校生ICT Conference in サミットのホームページ

<https://www.good-net.jp/ict-conference/2018/tokyo2018/>

最後に、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会の浅野 秀重（あさの ひでしげ）座長が、各グループの発表について講評するとともに、高校生の皆さんに伝えたいこととして、「学校の勉強を通して、主体的に情報と向き合う力を身につけ、ICT社会と自分はどう向き合っていけば良いかを学んでほしい。」とのメッセージがあり、「高校生ICT Conference 2018 in 石川」を締めくくりました。



講評する浅野座長

お問い合わせ先：情報通信部電気通信事業課 電話 076-233-4422